

サステナビリティマネジメント

オリコのサステナビリティは、基本理念やブランドスローガン「かなえる、のそばに。」に基づき、事業を通じて持続的な社会づくりに貢献し、企業価値を向上していくことをめざしています。

サステナビリティ担当役員メッセージ

基本理念を実践することで 持続可能な社会づくりに貢献します

常務執行役員 企画グループ担当 菅尾 睦



2015年にSDGs (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) が国連で採択されたことなどを契機としてサステナビリティへの意識が高まる中、持続可能な社会の実現に向けて、企業にはビジネス活動を通じてさまざまな環境や社会問題を解決することが期待されています。

こうした背景も踏まえ、2020年3月期を初年度とする新中期経営方針を策定し、基本戦略の一つに「サステナ

ビリティ取組み強化」を組み入れました。その戦略のもと、サステナビリティ基本方針や重要テーマ、また具体的取組み事項を制定しています。

当社は「信頼関係を大切にし、お客さまの豊かな人生の実現を通じて社会に貢献する」という基本理念の下、さまざまな取組みを通じて企業価値の向上と持続可能な社会の実現をめざしてまいります。

サステナビリティ基本方針

当社は、ステークホルダーの期待や要請を踏まえ、さまざまな社会課題の中から優先的に取り組む重要テーマを選定し、基本理念に掲げる「社会に貢献する企業」に相応しい金融商品・サービスの提供などの取組みを通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の向上をめざします。



サステナビリティ推進体制

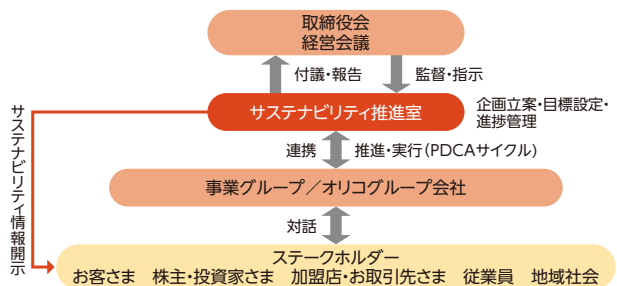
オリコは、金融に関する商品やサービスの提供などを通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上を図っていくため、2020年3月期からの新中期経営方針の基本戦略の一つに「サステナビリティ取組み強化」を掲げました。

それに基づき、サステナビリティの基本方針や重要テーマを制定し、重要テーマに基づく具体的な取組み項目を決定しています。また、それらの活動の促進やサステナビリティを社員の意識に浸透させるために、2018年10月にCSR推進室を「サステナビリティ推進室」に改称しました。

オリコにおけるサステナビリティの推進体制は、サステナビリティ推進室がさまざまな企画を検討・立案し、重要事項

については経営会議や取締役会にて審議・決定をしています。また、年度の取組み状況などについても、経営会議・取締役会に報告しています。

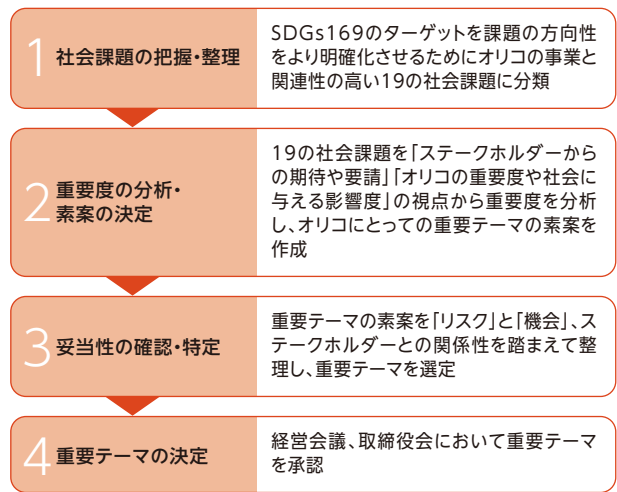
なお、オリコのサステナビリティの取組み状況や実績などについては、年1回発行するサステナビリティレポートやWebサイトを通じてステークホルダーに開示しています。



重要テーマ特定プロセス

重要テーマの特定にあたっては、

- ①SDGsやESG評価との関連性
 - ②オリコおよび当業界を取り巻く社会的課題との関連性
 - ③価値創造プロセスとの関連性
 - ④ステークホルダーからの期待や要請
- などを考慮し、サステナビリティ推進室を中心に本社関連部内で検討・協議しました。その結果、特定された重要テーマについては、最終的に経営会議で審議・承認し、取締役会に審議内容などについて報告しました。



国連「持続可能な開発目標(SDGs)」について

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)は、より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「アジェンダ2030」を採択しました。この計画がSDGsです。

SDGsは、ミレニアム開発目標で十分に手を打てなかった課題に加え、Rio+20で議論された深刻化する環境課題など17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって「誰も取り残されない」世界を実現しようという壮大なチャレンジです。



グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンより引用 <http://www.ungcn.org/sdgs/index.html>